





ちよつとからかっただけよ。



ごめんごめん。



誰かに見られなかった？

マコト君
友達のお母さん その2
楽gaki

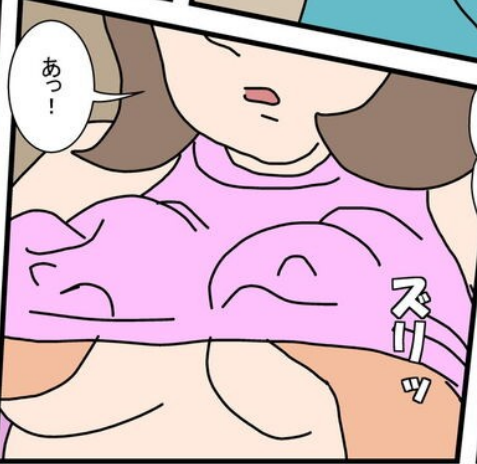


ごめんなさい。
せつかく会いに
来てくれたのにね。

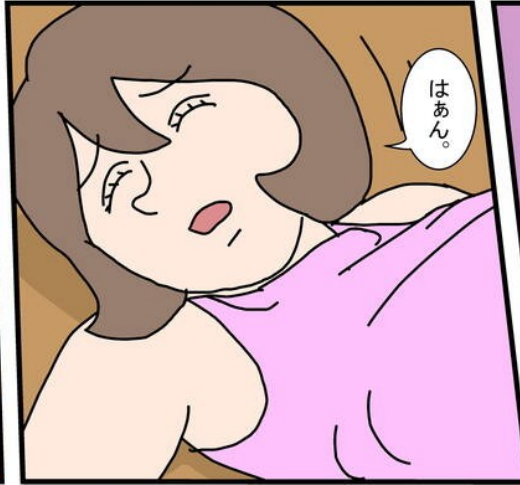


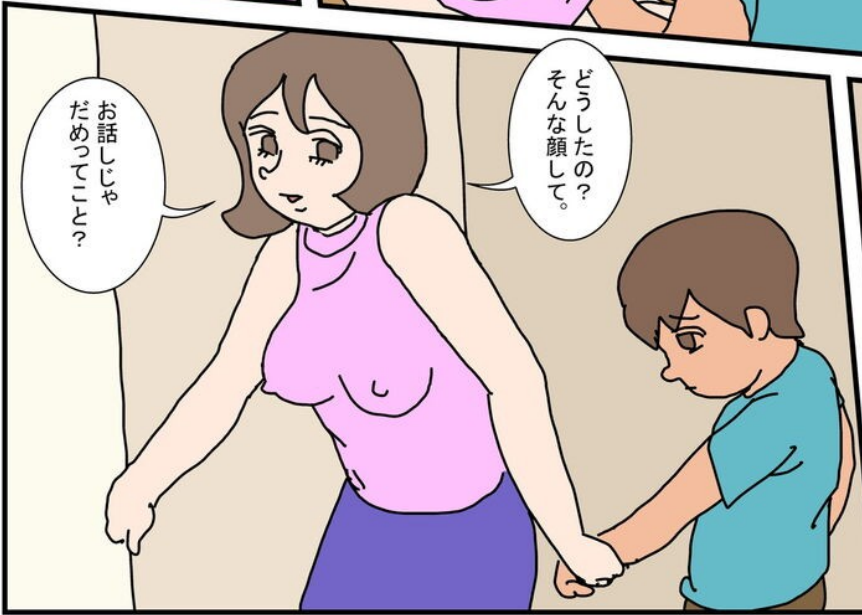
あゝ

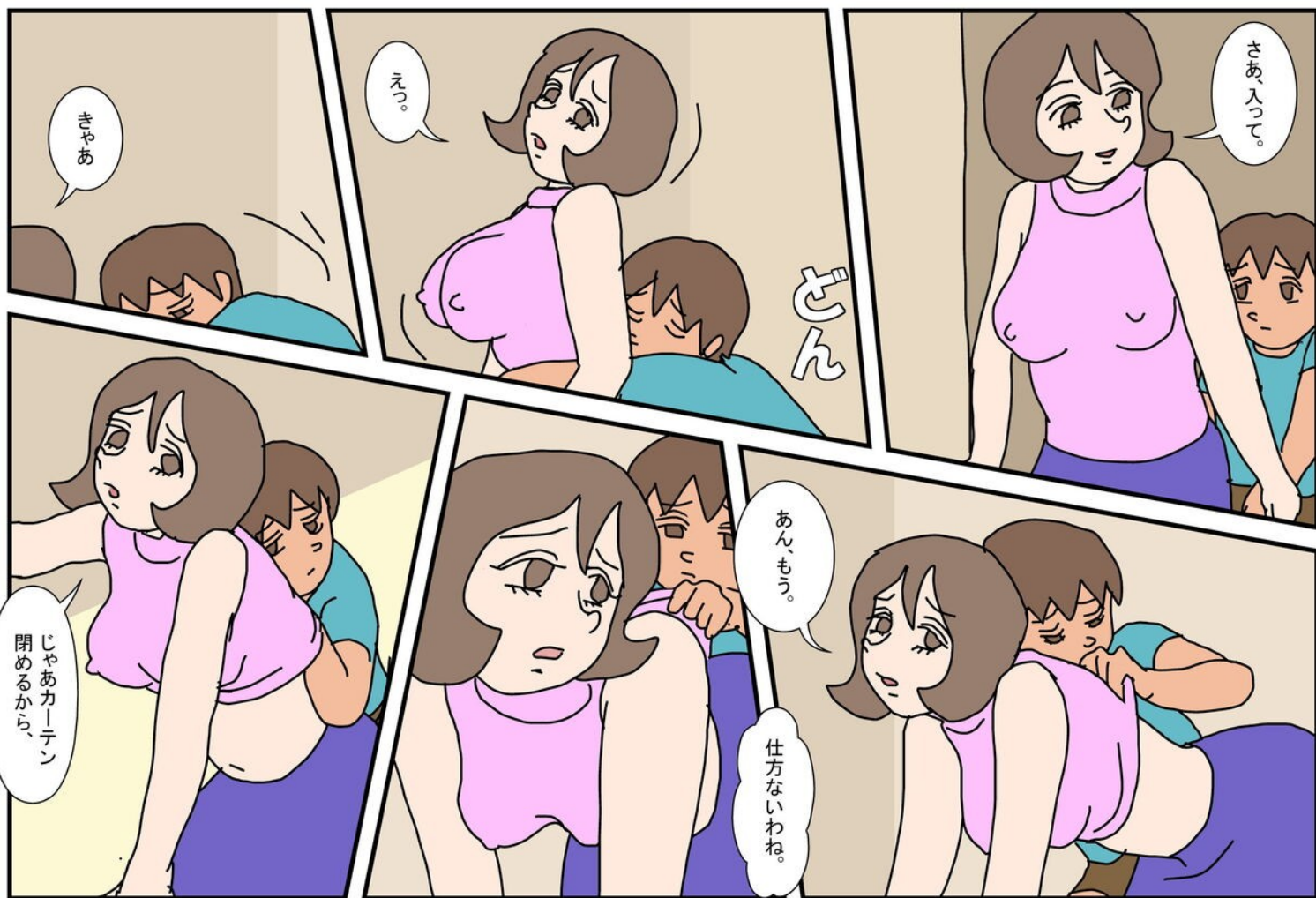
がぼ





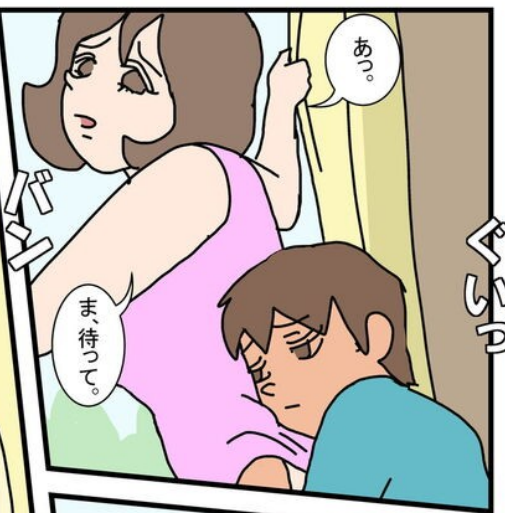








外から見えちゃう。

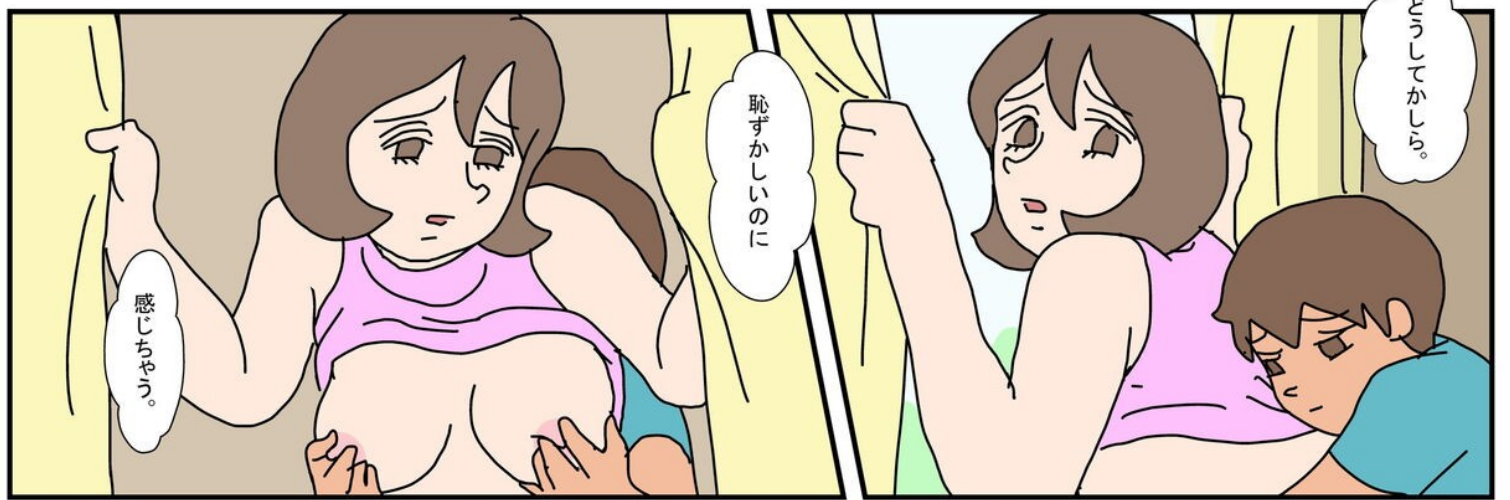
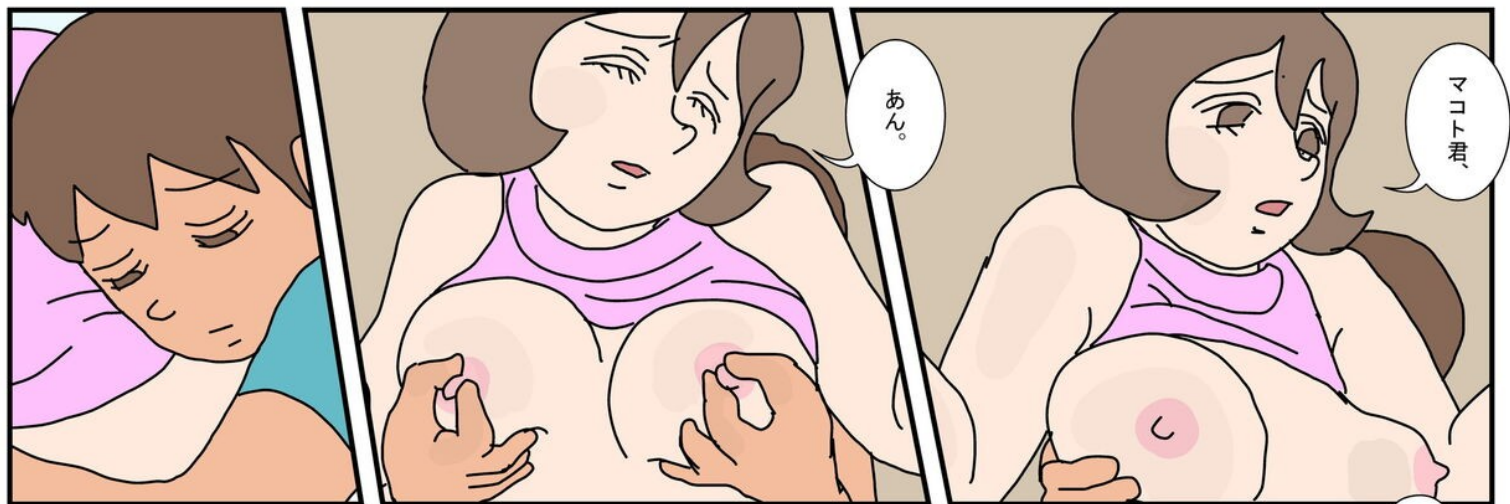


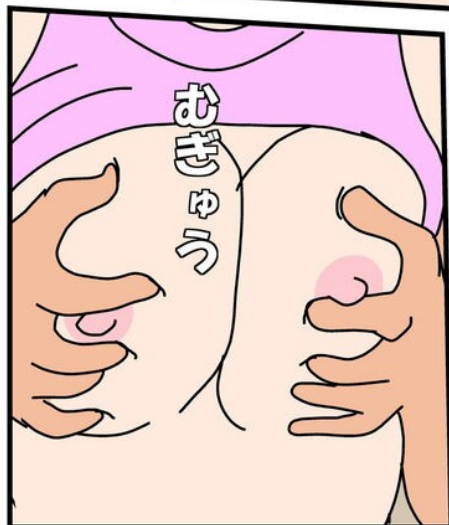
ア
シ
ン

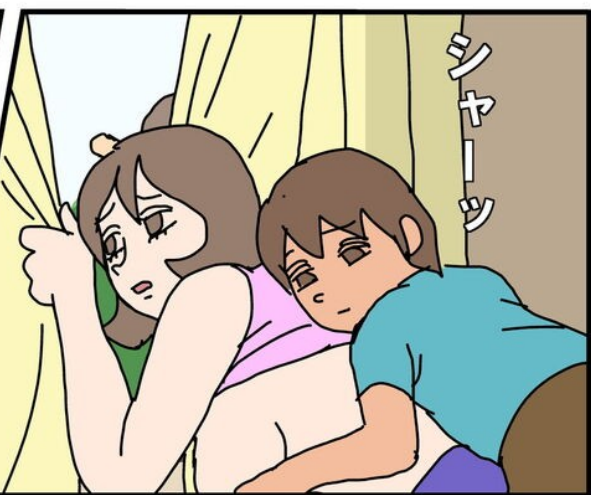
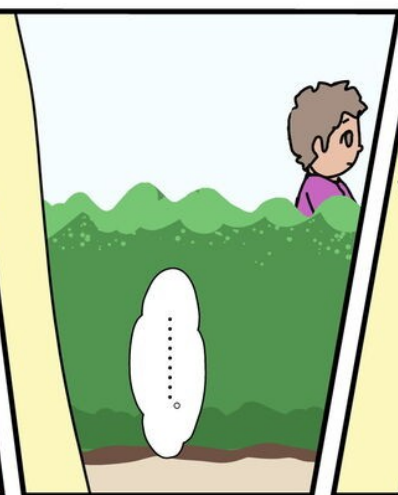
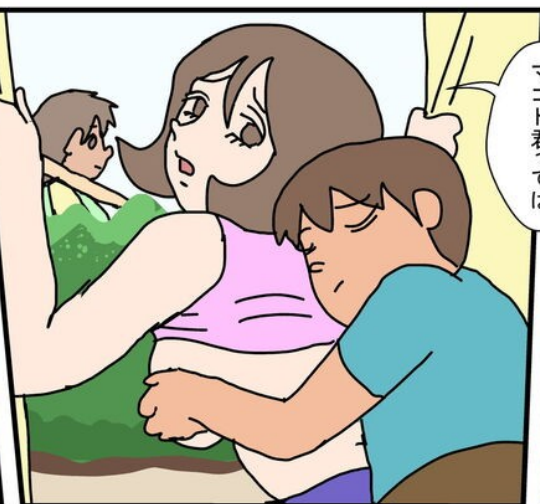


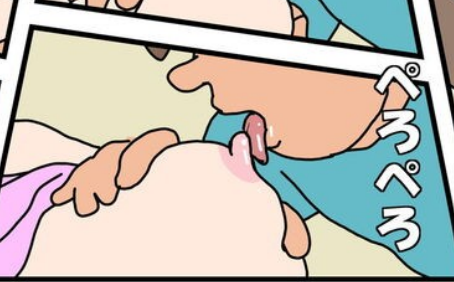
ああ、恥ずかしい。



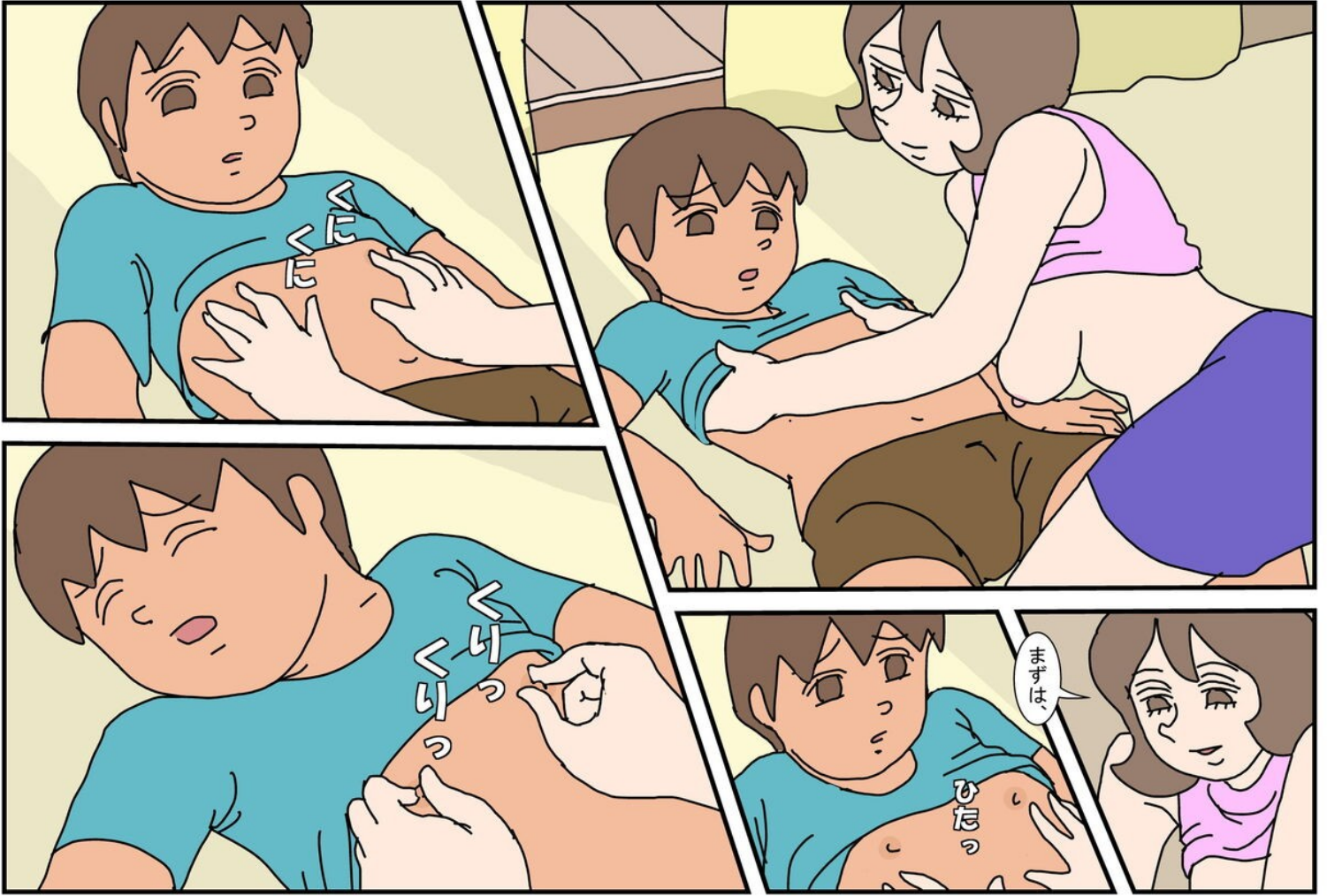


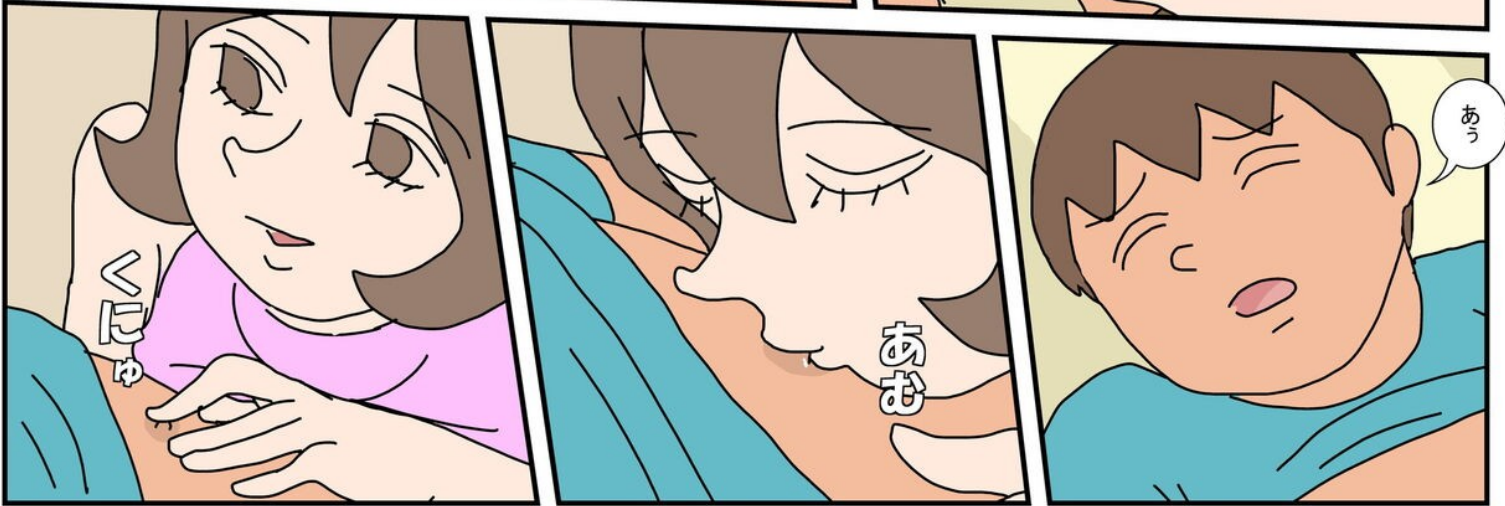
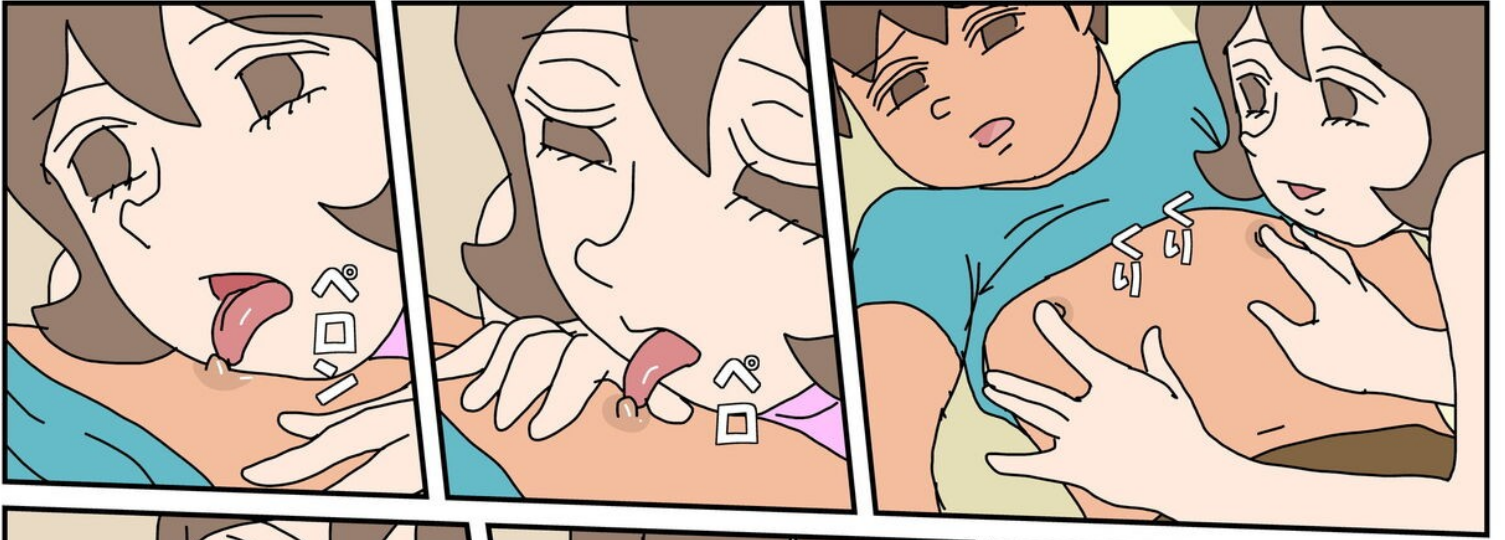


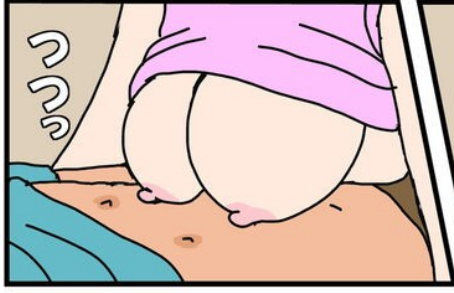
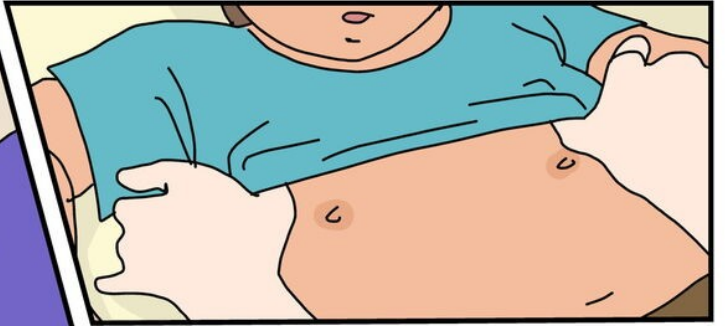
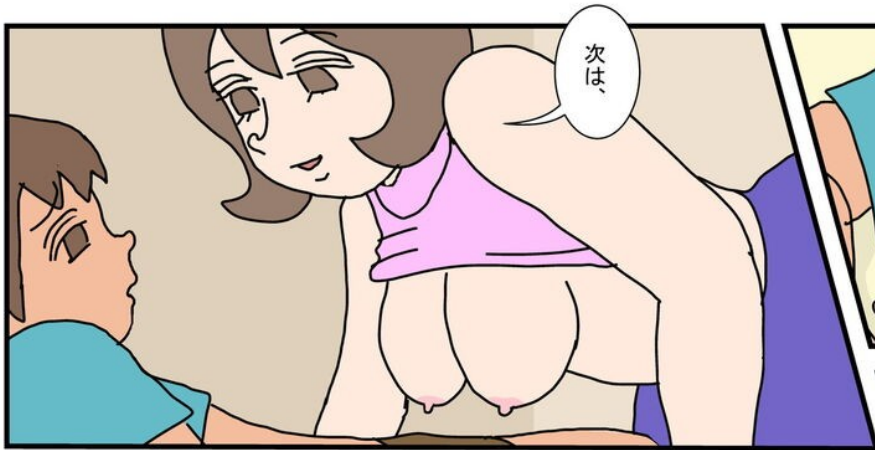


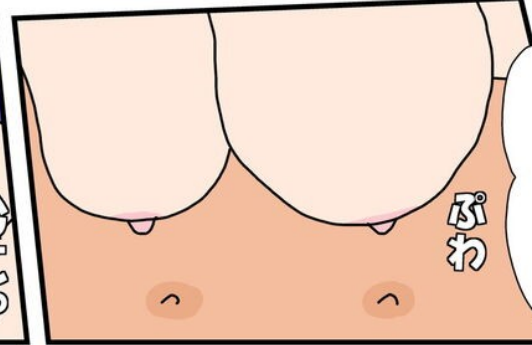
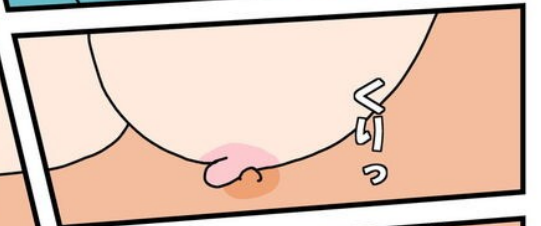
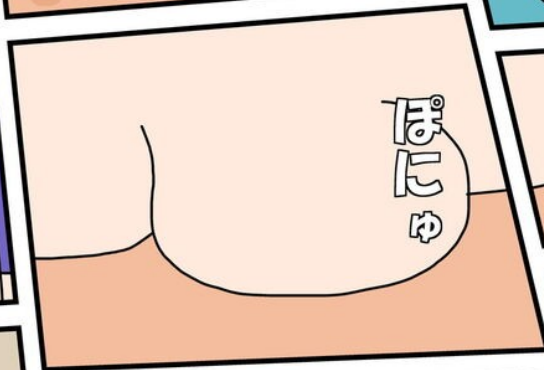
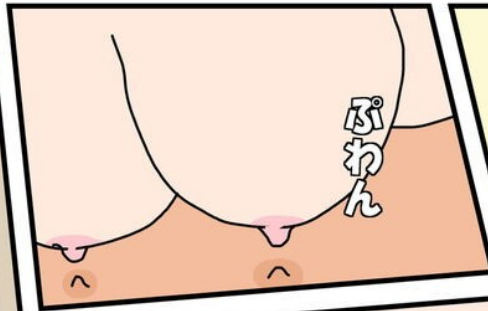


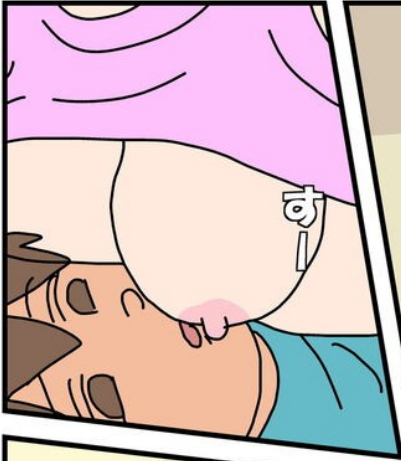








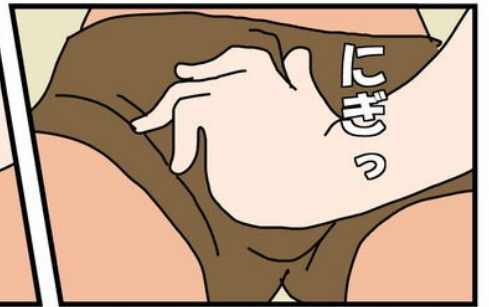
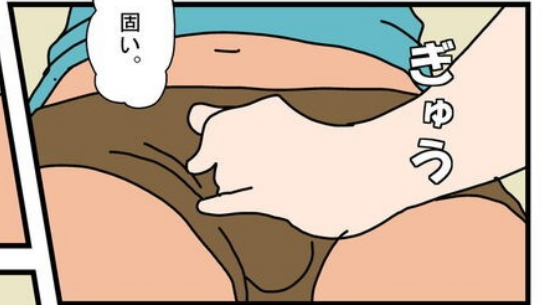
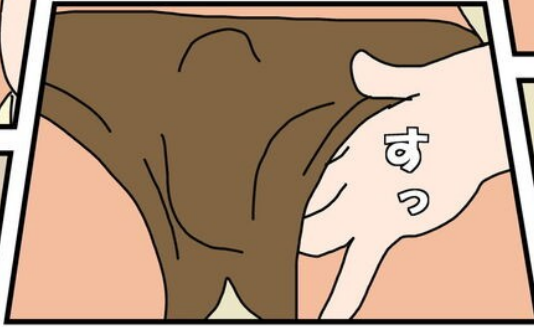
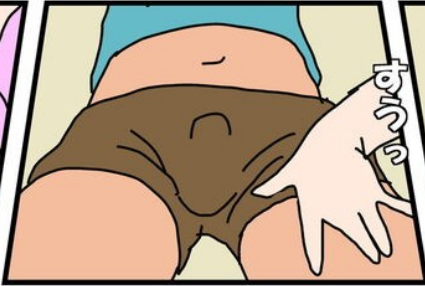


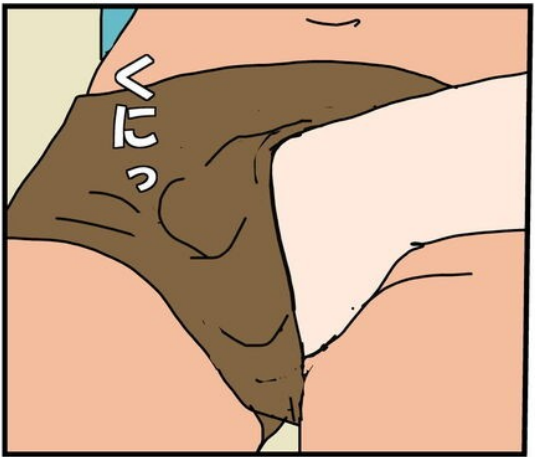










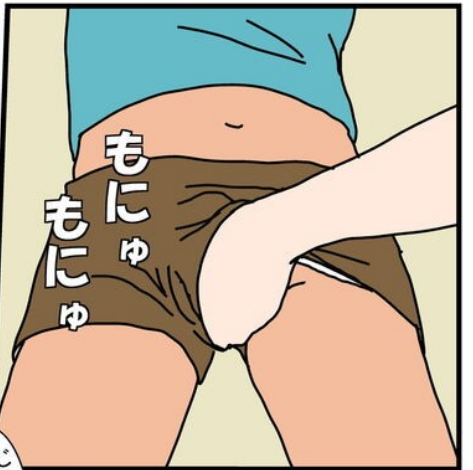




...

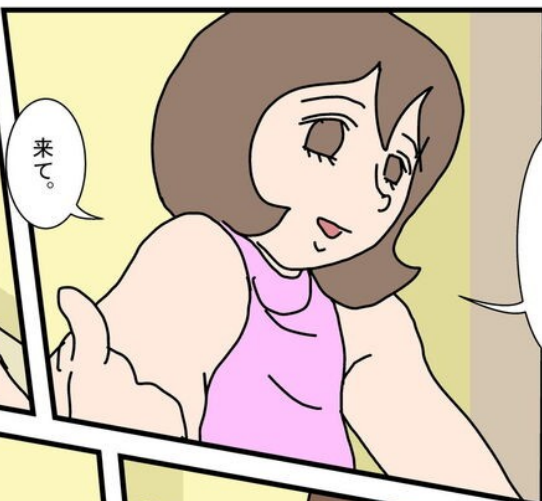


ねえマコト君
この前みたい
に
お昼寝しようか。

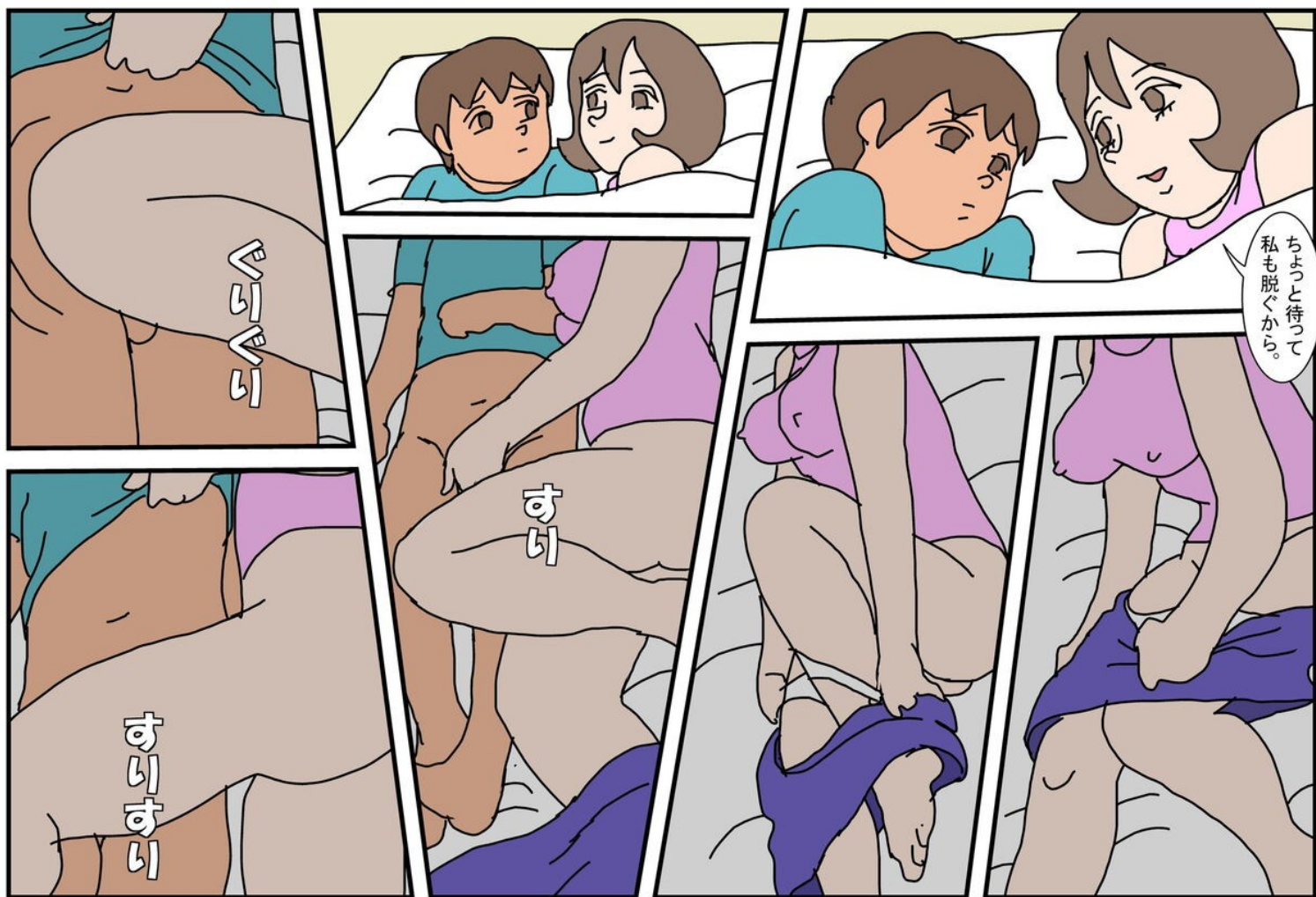


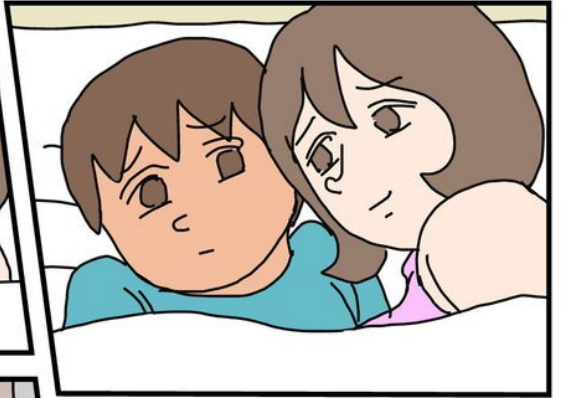
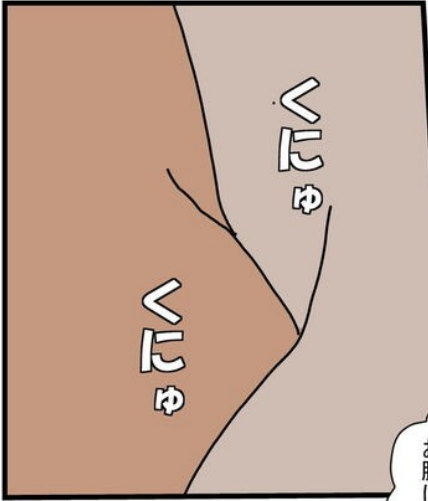
じゃあ
お布団の用意するね。











あ、マコト君のが
お腹に当たってる。





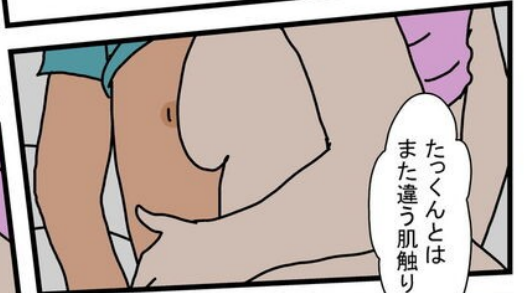
あ、っんっんしてる。



どっしたの？



あ、気持ちいい。



たっくんとは
また違う肌触り。



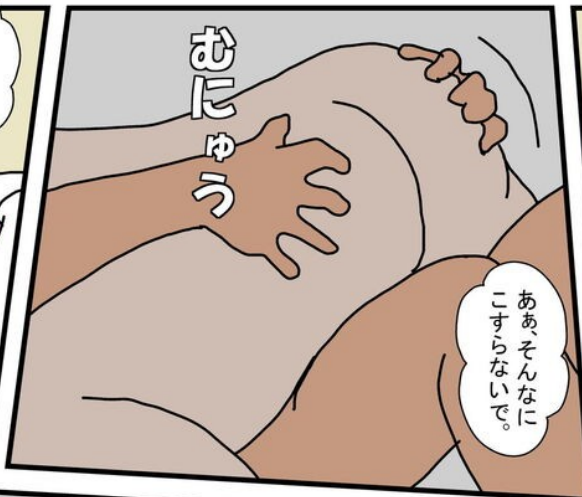
動いちゃダメ、
入っちゃう。

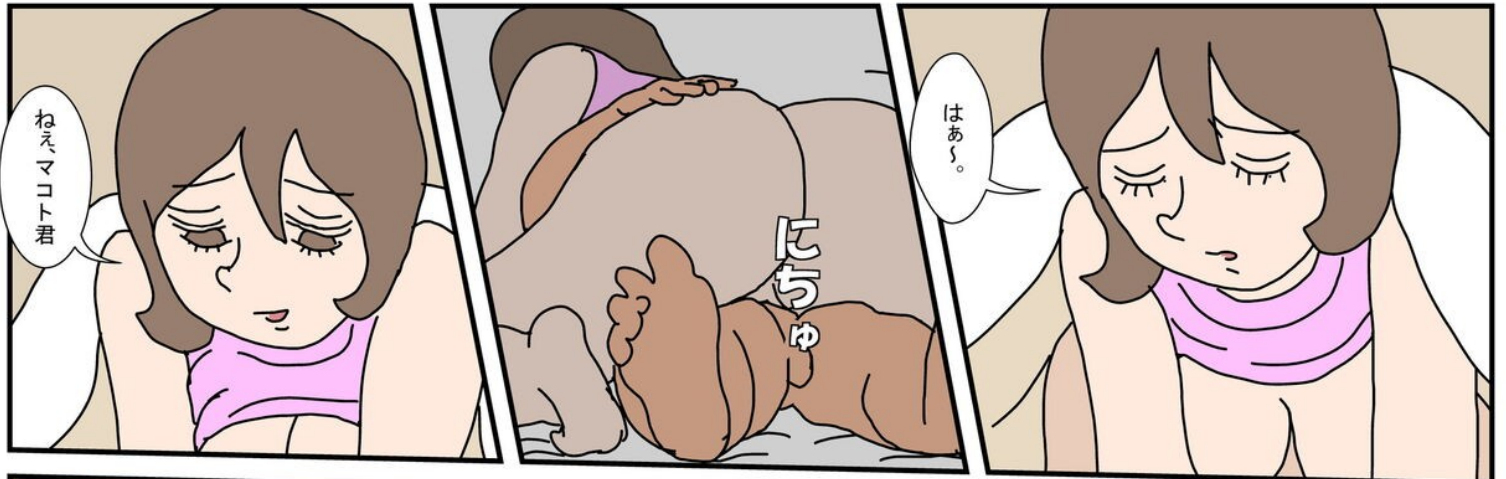


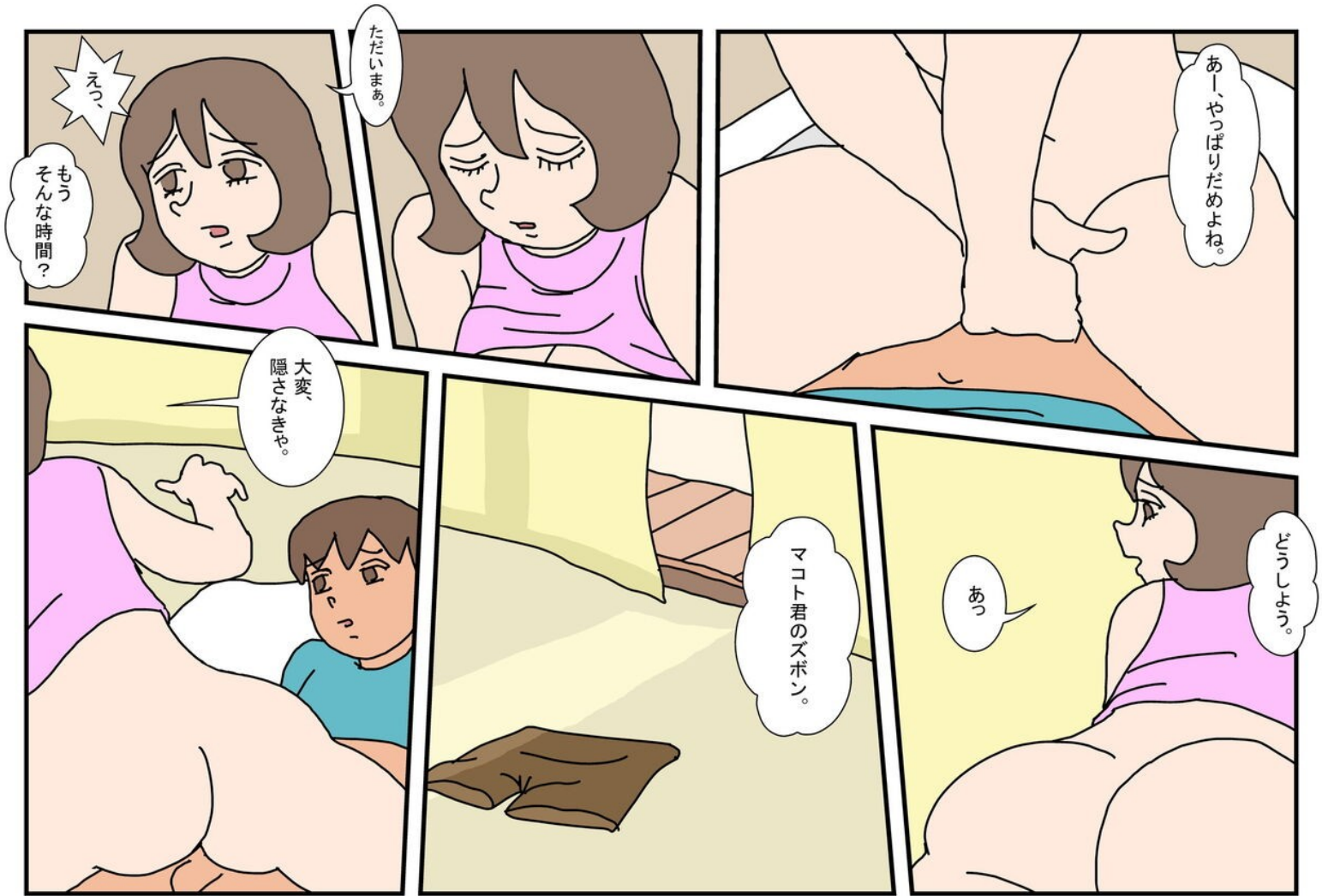
あ、そんなに下がったら
さきっぽが当たっちゃう。

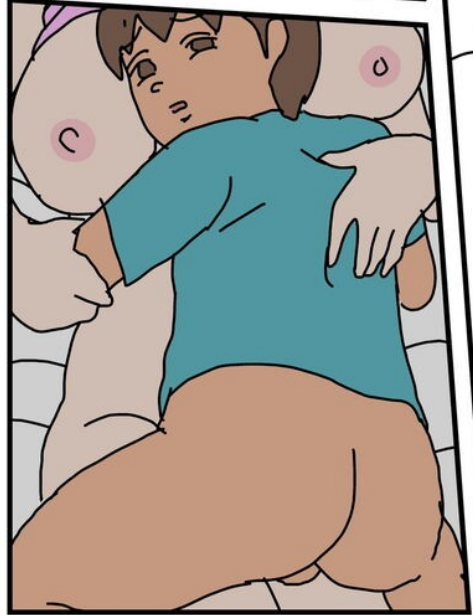
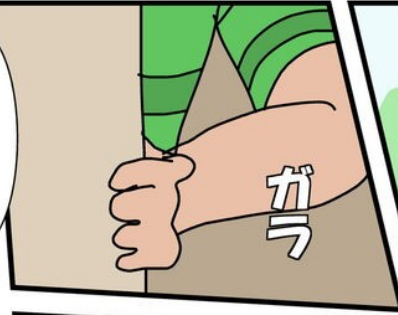


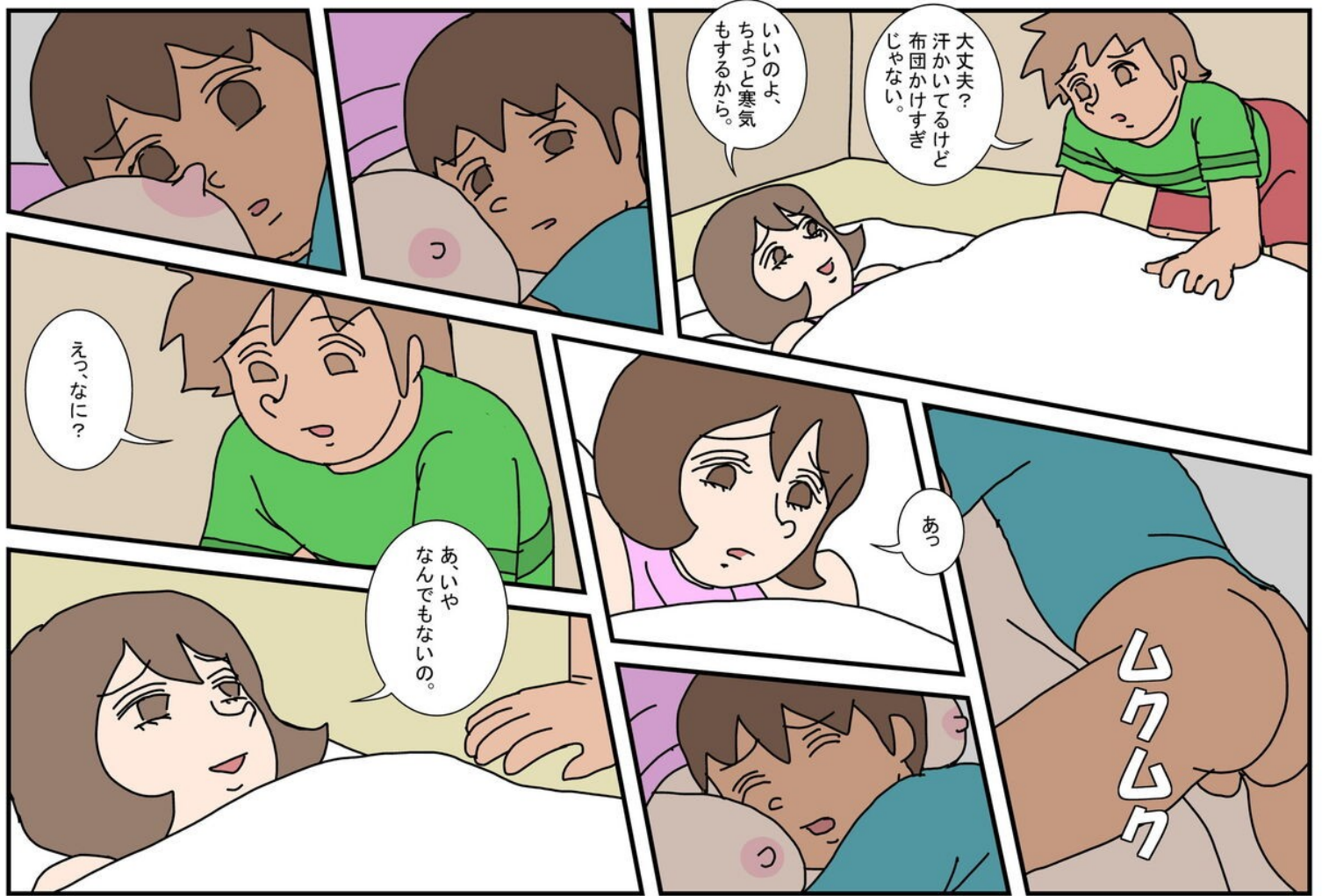
脈打ってるのが
伝わってくる感じ。













ありがとう。



ねえちよつと、たつくんの様子を見てきてくれないかな。



マコト君、こんな時に何してるの。



……



うん、わかった。



あん、そんなところつつかないで。

サトシが横にいるのに。



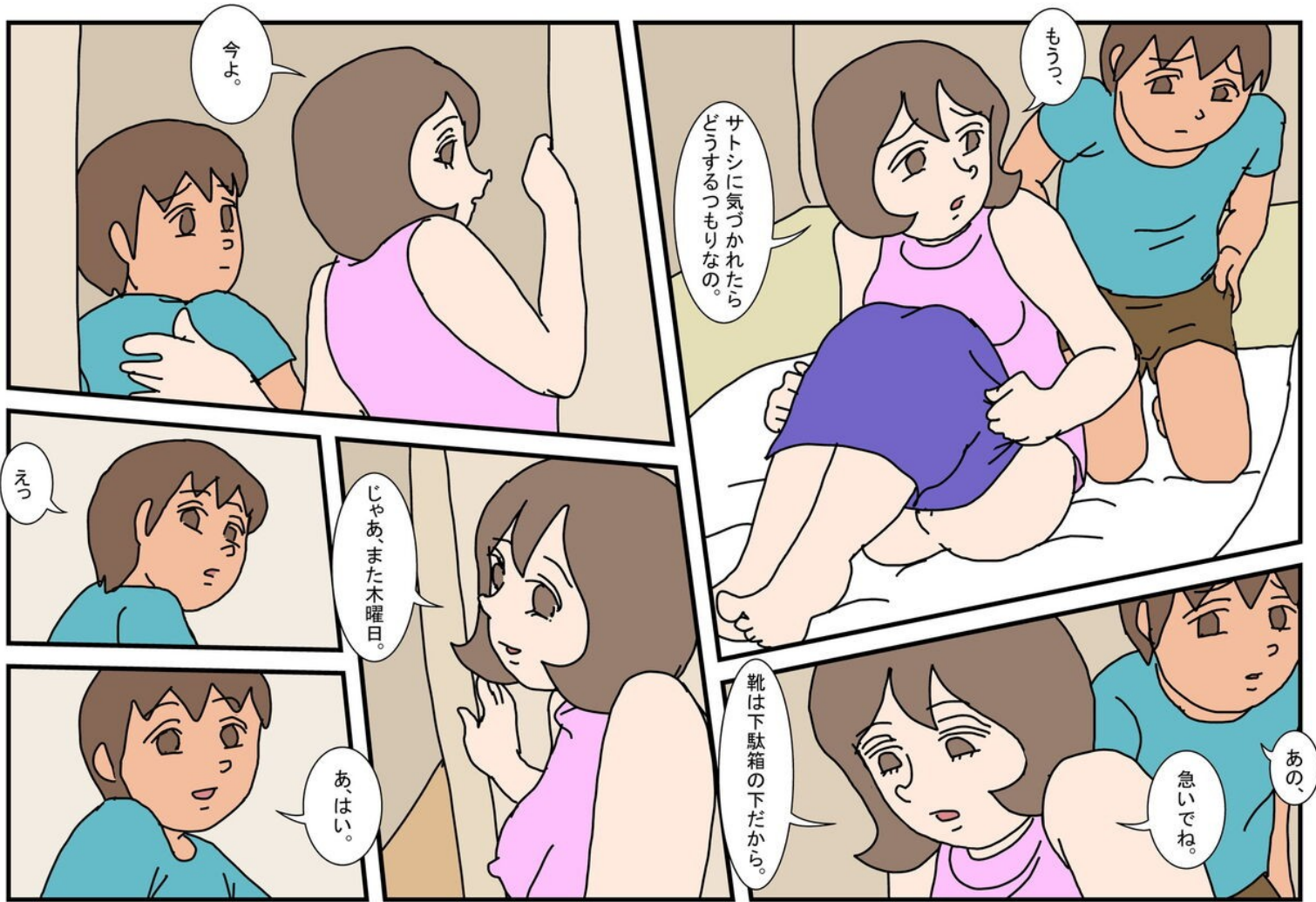
ごめんなさい。



ゆっくり寝て。



感じちゃう。



つづく